

## KFR セミナー

# 流体から考える船舶設計

船舶工学の大事な目的の一つは、性能の優れた船を設計し建造することです。設計には大きく、構造からの視点と流体的な視点の2つがあるでしょう。KFR が対象とする流体的な視点で見た場合、省エネ性能や操縦・運動性能などを最良にする問題を解くことが求められますが、そこには様々な制約があります。流体性能だけで船型を Fix することはもちろんできず、振動や構造的視点も当然考察に含め、設計スパイラルを回す必要があります。そのため、船舶設計は大変複雑な最適化問題を、エンジニアの経験と勘を総動員して解いていく必要がありますが、それらは各社のノウハウ、知的財産として公開されることは多くありません。この KFR 例会では、主に流体的な側面から眺めた場合の船舶設計手法について、2人のエキスパートの貴重なご経験と匠の技をご説明いただきます。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 古池 健太

— 記 —

### 第360回 KFR セミナー

- 日時：2025年2月18日（火）13：30～17：00
- 場所：大阪産業創造館 6F 会議室E  
大阪府大阪市中央区本町1-4-5  
<https://shisetsu.sansokan.jp/index.html>
- 対面のみ（オンライン配信や録画は行いません）・懇親会あり（次頁参照）
- 参加費：無料、要事前登録

#### ・船型設計・線図について

（岩崎 泰典 氏：元川崎重工業）13：40～15：10

線図は、船橋・甲板機器などの艤装品を除いた主船体形状を表す図面で、船型設計の最終結果である。設計者は、流体力学などの知識を駆使して諸検討・計算を行いながら、顧客との約束事項や諸要件を満たす船体形状を決定する。造船工程に於ける船型設計作業の位置づけ、船体主要目と線図、CAD全盛の現在でも変わらない線図作成作業の流れと留意点及び経験談を紹介いたします。

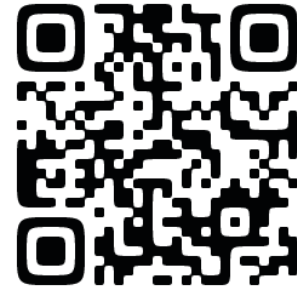
#### ・流れを考慮した船型設計および実船の性能推定について

（玉島 正裕 氏：流体テクノ株式会社）15：20～16：50

船型の設計は各所で確立されているが、流れの観点ではより設計条件が厳しい中小型船に注目した船型設計の一例について紹介する。初期船型形状設計における船首尾形状と推進性能、操縦性能、耐航性能および船尾振動の関連について、船体・プロペラ・舵周りの流れを通して考察します。また同一線図で複数の水槽試験結果から実船の推進性能を推定し、試運転結果と比較した例を紹介いたします。

参加申し込みは、2025年2月11日（火）までに下記URL（QRコード）からお願いいたします。

<https://forms.gle/BZK8svSk5x2DmKKHA>



問合せ先：(公社)日本船舶海洋工学会 関西支部 事務局・牧 敦生  
TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594  
E-mail：[k.office@jasnaoe.or.jp](mailto:k.office@jasnaoe.or.jp)

会場（大阪産業創造館）までのアクセス

(大阪産業創造館 HP より転載)  
<https://shisetsu.sansokan.jp/index.html>



懇親会について

セミナー終了後、懇親会（17：30開始、羽根つき焼小籠包 鼎's 堺筋本町店（<https://www.hotpepper.jp/strJ001211021/appearance/>）、会費＝5,000円）も予定しています。こちらにもぜひご参加ください。当日は係の者が誘導します。お手数ですが、懇親会への参加希望についても併せてご連絡をお願い致します。なお、懇親会欠席のご連絡は、1週間前までお願いいたします。

※懇親会費は当日、現金でお支払いください。できるだけ釣銭なきようお願いいたします。

※懇親会の直前（1週間前以降）のキャンセルは原則お受けいたしかねます。

以上